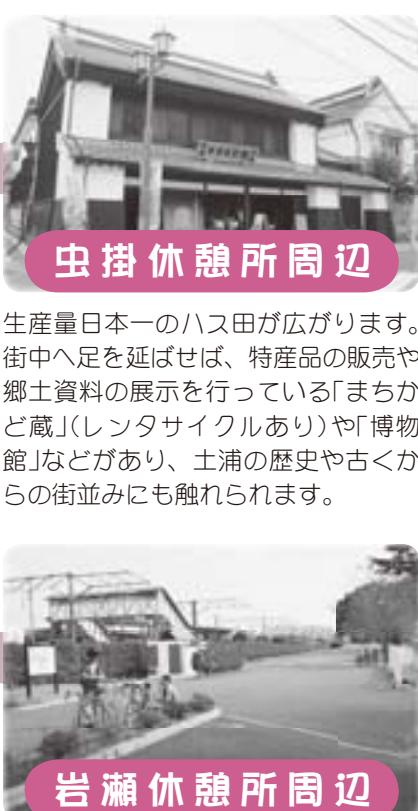




豊かな自然と歴史に恵まれた筑波山の麓に、筑波鉄道の廃線跡地を利用して整備された自転車道「つくばりんりんロード」。土浦市川口と桜川市犬田を結び、全長40・1kmにあよぶ道のりの周辺にあります。見どころについて紹介します。

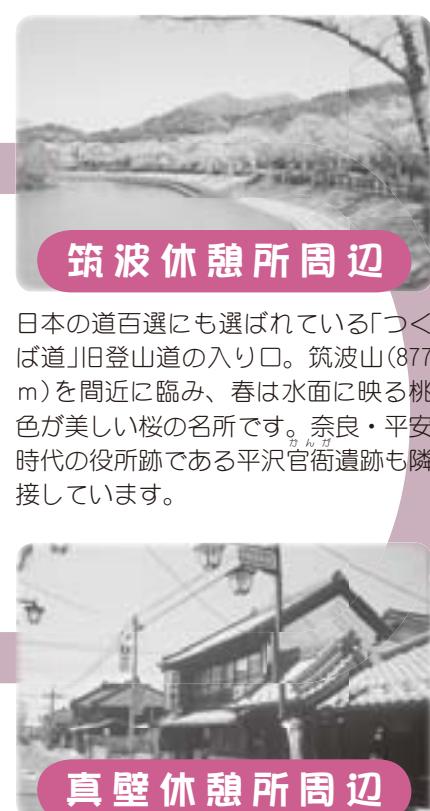
問 行政経営課 (☎ 826-1111 内線 2384)



生産量日本一のバス田が広がります。街中へ足を延ばせば、特産品の販売や郷土資料の展示を行っている「まちかど蔵」(レンタサイクルあり)や「博物館」などがあり、土浦の歴史や古くからの街並みにも触れられます。



藤沢休憩所には、以前は鉄道の駅があり、現在も駅の雰囲気が残されています。北に向かえば、「小町の館」があります。館内の「小町庵」では打ち立てのそばが食べられ、事前に予約をすればそば打ち体験もできます。



日本の道百選にも選ばれている「つくば道」旧登山道の入り口。筑波山(877m)を間近に臨み、春は水面に映る桃色が美しい桜の名所です。奈良・平安時代の役所跡である平沢官衙遺跡も隣接しています。



安産・子育ての靈場として知られている雨引山楽法寺は、雨引觀音として親しまれ、桜やあじさいの名所でもあります。境内にはクジヤクが放し飼いにされていて、参拝者の目を楽しませてくれます。



中世、真壁氏の居城であった真壁城跡は、毎年発掘整備が進められています。その城下町に始まる真壁の町並みは、100棟を超える登録文化財と町の人たちのおもてなしで、訪れる人を楽しませてくれます。

小山寺には、国の重要文化財に指定されている三重の塔がそびえます。桜川の源流近くには磯部稻村神社、磯部桜川公園があり、国の天然記念物に指定されている桜やヤマザクラなど、さまざまな桜が群生しています。